



# 第80期 中間報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、  
安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第80期(平成30年4月1日から平成30年9月30日まで)の中間報告書をお届けいたします。

代表取締役社長  
坂田 信一郎



## 事業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国をはじめとする好調な世界経済を背景に、輸出、生産、設備投資がともに伸長し、企業業績も堅調に推移いたしました。雇用環境は、一部業種で人手不足が顕在化するなど実質的に完全雇用に近い水準にあり、個人消費も底堅く景気は緩やかながら拡大基調を持続しました。

国内新車総販売台数(軽を含む)の4～9月の実

績は前年同期比横ばいの約248万台となり、内訳は登録車が同1.9%減の約158万台と4年ぶりに前年を下回った一方、安全機能の搭載が広がった軽自動車は販売が回復し、同3.5%増の約90万台と2年連続のプラスとなりました。

このような環境下、当社グループの国内部門では、車検入庫の減少等の影響が予測されるなか、新型車への付加価値の高いオリジナル商材の提案活動や新規先開拓に注力し、自然災害の影響をカバーするべく地域密着型営業を一段と強化し、取引先との関係を密にするとともに、異業種を含めた新たなビジネスモデルの構築にも取り組みました。

また、昨年開設した研究開発施設の中之島R&Dセンターでは、オリジナル商材の商品開発力の強化と品質向上に努めました。

海外部門では、海外拠点と連携し、オリジナル商材の投入と新規取引先の開拓に注力しましたが、中近東や北米地域で販売が低迷いたしました。

連結子会社のセントラル自動車工業株式会社は、

当社の主力商品の1つであるCPCブランド商材の生産が順調に推移し、新規開発商品の量産化にも迅速に対応しております。

これにより、当社グループの売上高は96億3百万円(前年同期比100%)、営業利益は17億99百万円(同113%)、経常利益は20億54百万円(同108%)、親会社株主に帰属する中間純利益は14億60百万円(同104%)となりました。

当中間期末の配当金につきましては、前年同期比3円増配の1株当たり22円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、米中貿易摩擦、英国のEU離脱合意の可否、米国利上げと新興国からの資金流出懸念、原油価格の上昇などリスク要因は多く存在するものの、当面は現在の基調を辿るものと予想されます。

こうした状況下、当社グループは、研究開発施設の一層の設備と人員の充実を図り、新商品の開発、新規取引先の開拓、自動車業界の経営環境の変化

を見据えた新しいビジネスモデルの構築に挑戦するとともに、新規事業への投資にも積極的に取り組んでまいります。

グループ企業の永続的発展と企業価値向上を志し、当社の将来を担う若手および中核人材の育成と現場経験を重視する社員力の向上を最重点課題として不断に取り組み、潜在ニーズから需要を創造して社会に貢献する開発型企业として株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長 坂田 信一郎

## 会社の概要

設立	昭和21年5月10日
資本金	10億100万円
従業員数	企業集団の従業員数 249名 当社の従業員数 239名

## 事業内容

当社／自動車用部品、用品および新商品ならびに関連サービスの開発・販売、輸出入  
連結子会社／自動車用品製造販売ならびに自動車部品、用品販売および輸出入

## 国内事業所

本社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-30 電話(06)6443-5182(代表)	大阪支社	〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-33 電話(03)4303-5011(代表)
札幌支社	〒060-0032 札幌市中央区北2条東14-26 電話(011)241-8121(代表)	広島営業所	〒733-0321 広島市西区夷午北2-10-20 電話(032)507-7731(代表)
仙台支社	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町4-1-20 電話(022)231-9351(代表)	高松営業所	〒731-0031 高松市郷東町4-1-7 電話(037)331-4401(代表)
仙台支社盛岡営業部	〒020-0135 盛岡市大新町6-35アイビル大新町 1F 電話(022)231-9351(仙台支社代表)	福岡支社	〒315-0031 福岡市南区清水4-7-14 電話(092)554-3100(代表)
北関東支社	〒321-0103 宇都宮市台新田町143 電話(028)658-2191(代表)	福岡支社南九州営業部	〒390-0052 鹿児島市上之島町19-17 ネオアクシス甲南101 電話(092)554-3100(福岡支社代表)
北関東支社高崎営業部	〒370-0046 高崎市江木町275-1フジノビル 201号室 電話(028)658-2191(北関東支社代表)	中之島R&Dセンター	〒530-0005 大阪市北区中之島4-1-15 電話(03)6443-5343(代表)
東京支社	〒173-0004 東京都板橋区板橋1-42-13 大佳板橋ビル5F 電話(03)5943-9088(代表)	東日本物流センター	〒345-0012 埼玉県葛飾郡杉戸町深輪393-13 センコー杉戸R&Dセンター内 電話(0430)53-7112(代表)
静岡営業所	〒420-0816 静岡市葵区沓谷5-8-11 電話(054)261-3344(代表)	西日本物流センター	〒651-2241 神戸市西区室谷1-3-5(神戸ハイ テクパーク内)センコー西神戸R&Dセンター内 電話(078)990-0722(代表)
金沢営業所	〒920-0061 金沢市問屋町1-82-1 電話(076)237-6561(代表)		
名古屋支社	〒467-0875 名古屋市瑞穂区御剣町2-18 電話(052)882-1211(代表)		

## 海外事業所

デトロイト(米国)／シンガポール／広州(中国)／ドバイ(UAE)／  
ジャカルタ(インドネシア)／マニラ(フィリピン)／  
ヤンゴン(ミャンマー)／台北(台湾)

## 連結子会社

セントラル自動車工業株式会社 本社工場(大阪府)  
CAPCO PTE LTD(シンガポール)

## 株式の状況

(平成30年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	80,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	20,020,000株
当中間期末の株主数		2,906名

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日産東京販売ホールディングス株式会社	1,060	5.84
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE FIDELITY FUNDS	1,020	5.63
日本精工株式会社	914	5.04
株式会社三菱UFJ銀行	888	4.90
東京海上日動火災保険株式会社	755	4.16
上野万里子	685	3.78
TPR株式会社	663	3.66
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	589	3.25
株式会社みずほ銀行	531	2.93
株式会社椿本チエイン	500	2.76

(注) 持株比率は自己株式(1,879,912株)を控除して計算しております。

中間連結貸借対照表

資産の部	
科目	金額(千円)
<b>流動資産</b>	<b>13,310,869</b>
現金及び預金	10,045,392
受取手形及び売掛金	2,225,908
商品及び製品	879,846
仕掛品	4,180
原材料及び貯蔵品	10,249
その他	148,668
貸倒引当金	△ 3,376
<b>固定資産</b>	<b>14,653,495</b>
<b>(有形固定資産)</b>	<b>(2,502,526)</b>
建物及び構築物	831,864
土地	1,588,043
その他	82,619
<b>(無形固定資産)</b>	<b>(331,246)</b>
商標権	156,277
その他	174,969
<b>(投資その他の資産)</b>	<b>(11,819,721)</b>
投資有価証券	10,147,537
その他	1,672,184
<b>資産合計</b>	<b>27,964,364</b>

負債の部	
科目	金額(千円)
<b>流動負債</b>	<b>2,874,328</b>
支払手形及び買掛金	1,483,330
未払法人税等	581,982
賞与引当金	305,737
その他	503,278
<b>固定負債</b>	<b>1,229,617</b>
退職給付に係る負債	1,134,519
その他	95,098
<b>負債合計</b>	<b>4,103,946</b>

純資産の部	
科目	金額(千円)
<b>株主資本</b>	<b>22,922,428</b>
資本金	1,001,000
資本剰余金	4,251,338
利益剰余金	18,379,092
自己株式	△ 709,002
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>937,990</b>
その他有価証券評価差額金	1,014,176
繰延ヘッジ損益	△ 1,549
退職給付に係る調整累計額	△ 74,637
<b>純資産合計</b>	<b>23,860,418</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>27,964,364</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 中間連結損益計算書

科目	金額(千円)	
売上高		9,603,424
売上原価		5,513,005
<b>売上総利益</b>		<b>4,090,418</b>
販売費及び一般管理費		2,290,703
<b>営業利益</b>		<b>1,799,715</b>
営業外収益		270,355
受取利息及び配当金	41,834	
持分法による投資利益	171,516	
その他	57,003	
営業外費用		15,422
支払手数料	3,701	
その他	11,721	
<b>経常利益</b>		<b>2,054,647</b>
<b>税金等調整前中間純利益</b>		<b>2,054,647</b>
法人税、住民税及び事業税	520,579	
法人税等調整額	73,663	594,242
中間純利益		1,460,405
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>		<b>1,460,405</b>

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 取締役と監査役 (平成30年9月30日現在)

代表取締役社長	坂田 信一郎
代表取締役副社長	村井 尚
専務取締役	宮井 智史
専務取締役	藤井 俊和
常務取締役	鳥野 善文
取締役	柿野 雅文
取締役	近藤 雅之
取締役	廣内 学
取締役	阿部 啓
取締役	久保井 聡明
常勤監査役	石塚 一博
監査役	池田 正實
監査役	中山 正隆

- (注) 1. 取締役 久保井聡明氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
 2. 監査役 池田正實、中山正隆の両氏は、会社法第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役であります。

## 主要取扱商品 (国内部門および海外部門)

区分	主要商品名
シャーシーおよび トランスミッション部品	ベアリング サスペンションパーツ ユニバーサルジョイント クラッチディスク&カバー ディスクパッド ショックアブソーバー デフレクションギヤー
電装品および カーエアコン	バッテリー ホーン カーエアコンパーツ イグニッションパーツ&ケーブル
エンジン メンテナンス関係	エレメント エンジンオイル ピストン&ピストンリング エンジンメタル ウォーター・フューエル・オイルポンプ ガスケット タイミングパーツ エンジンオイル添加剤 (メタルトリートメント)
ケミカルおよび 美装・環境システム	潤滑油 ウインドケミカル他 洗車用品 車外美装システム 車内抗菌・防臭コーティング ウインドウガラス撥水コーティング
その他	無機防汚コーティング剤 アルコール検知器 カーナビ画面保護フィルム 自動車ボディ保護フィルム ワイパーブレード その他部品・用品



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(フリーダイヤル)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います <a href="http://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html">http://www.central-auto.co.jp/outline/kabu.html</a> 事故その他やむを得ない事由により電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 《ご注意》

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 《ご案内》

- 1.平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について  
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315%(※)の源泉徴収税率が適用されます。  
(※)所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%  
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。  
詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問い合わせください。
- 2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて  
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。  
なお、期末または中間配当金につき「株式数比例配分方式」をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間の「配当金受領株主確定日」までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。  
また、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## 主な取扱商品

### ボディコーティング



### CPCボディーマー マキシム CPCスーパープレミアムコーティング エクスG

- 役割の異なる3重のガラス質被膜をボディに形成。自動車用ボディコーティングに求められる機能・特性を最高レベルで発揮します。
- 更にマキシムは、3重のガラス質被膜を焼き付け施工し、圧倒的な耐久性を持たせ、新車時の施工で7年間保証を実現しました。



### CPCプレミアムコーティング ダブルG ／ダブルGベータ

- 自動車の塗装面に2重のガラス質被膜を形成。光沢、艶、膜厚感、持続性、汚れから守る効果等、全てを高レベルで実現します。
- お手入れも一段とラクになり、輝きや光沢を際立たせ、その美しさを長期間守ります。



※日刊自動車新聞用品大賞2015「ケミカル部門賞」受賞。



### ガラスコーティングガードコスメ ／ガードコスメSP

- 高級感のある輝きや光沢を一層際立たせ、そして守る、ハイグレード・ボディコーティングです。
- ガラス質被膜とフッ素化合物被膜のハイブリッドタイプで、お手入れもラクになります。



※日刊自動車新聞用品大賞2007「機能用品部門賞」受賞。



### CPCペイントシーラント CPCガラスコート CPCガラスコートSP

- CPCは国内での販売実績が約30年。愛車の輝きを守りながら、お手入れをラクにするボディコーティングの定番です。

### メタルトリートメント MT-10 (エムティーテン)

- エンジン内部の金属表面を滑らかにして摩擦抵抗を抑え、エンジンを守るオイル添加剤です。燃費効率の向上に貢献しながら、エンジン音も静かになり、始動性やレスポンスも向上、快適なドライブをご提供できます。
- MT-10エフィは、低低温状態のエンジンの摩擦抵抗も低減。ハイブリッド車やアイドリングストップ車にも最適です。



### 安全運転のため360°視界スッキリ SKATO360 (スカット・サンロクマル)

- 雨の日の視界を良好にして、ドライバーや歩行者の安全のお役に立つウインドウガラス撥水コーティングです。
- 優れた撥水効果と長期間の持続性を持ち、フロントガラスだけでなく、サイドリアガラスにも施工でき、360°良好な視界を確保します。



※比較画像は水道水をホースで散水し、人工的に雨をイメージさせたものです。

※日刊自動車新聞用品大賞2009「ケミカル部門賞」受賞。

## EXCEL PURE 無機防汚コーティング剤 エクセルピュア

- ガラスなどの透明基材に塗布することにより、表面に親水被膜を形成。セルフクリーニング効果を持たせて、基材の汚れ付着を防ぎます。
- 太陽光パネルに塗布した場合、初期から光透過性が高まり、発電効率が向上することが確認できています。それらの事から太陽光パネルコーティングとして市場から注目されています。



※未施工ガラス面の水接触角



※施工済ガラス面の水接触角

## soCiAC アルコール検知器 “ソシアック”シリーズ

- 多数の官公庁、地方自治体、一般企業様、さらには警察の飲酒検問・第一次検査用としても採用されているアルコール検知器です。
- 測定履歴が保管できるタイプや、アルコール検知器の故障の有無を確認できる「テスターキット」も含め、プロドライバーにシリーズとして選ばれています。



売上代金の一部を公益財団法人交通通児等育成基金へ継続して寄付させて頂いております。

※日刊自動車新聞用品大賞2003「特別賞」、同2008「セーフティ部門賞」、同2011「セーフティ部門賞」受賞。

Japan-Central Automotive Approved

## J.C.A.P.

## プライベートブランド “J.C.A.P.”シリーズ

- 「J.C.A.P.」は、中央自動車工業のプライベートブランドです。創業以来培ってきたノウハウを駆使して、各国の強味をコーディネートしながら、皆様にご満足頂ける商品をピックアップしました。
- 品質・生産能力・コスト等を吟味して、今後もシリーズの拡充を図っていきます。



## 海外拠点を拡充・活用しながらグローバルに展開 自動車用部品

- 世界60数カ国をネットワークして、日本の優れた自動車用部品を海外に、また厳選した海外生産の部品を他国へと、グローバルに輸出入しています。
- 現地に赴き地域ごとに異なるマーケットニーズや販路状況等を調査しながら、それらにマッチした商材を幅広く紹介。海外営業拠点を拡充しながら、新たなマーケットの開拓にも努めています。

